

第4章

いなみ野ため池ミュージアム の検証



1. 「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」検討委員会

「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」が発足して5年。これからの体制を検討する会を開催しました。

(2009年8月12日、9月28日、11月5日)

a) 目的・組織

- ・「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」の運営方法の検討

2009年8月12日検討委員会調査報告



2009年9月28日検討委員会調査報告



検討会議の構成

	氏名	職名（当時）
運営協議会	池本廣希	いなみ野ため池ミュージアム運営協議会副会長
	藤田憲二	明石市ため池協議会連絡会会長（代理）
	山本隆	加古川市ため池協議会連絡会会長
	生嶋洋一	高砂市ため池協議会連絡会会長
	小山由和	稲美町ため池協議会連絡会会長
	浅原重利	播磨町ため池協議会連絡会会長
	平山隆之	明石市（産業振興部長）
	稲岡安則	加古川市（地域振興部長）
	新木茂	高砂市（まちづくり部長）
	橋本博嘉	稲美町（経済環境部長）
	大西正嗣	播磨町（住民グループ統括）
識者	南埜猛	兵庫教育大学大学院准教授
	森川稔	滋賀県立大学准教授

b) 主な意見

組織のあり方

- ・3市2町が連携して「いなみ野ため池ミュージアム」の枠組みを守るべき
- ・「運営協議会」の運営は、「市町ため池連絡協議会連絡会」の会長が情報を共有し、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の運営委員会が主体的に行うべき
- ・「ため池・水路」を守るのは地域の仕事。行政はそれを補完していくべきであり、あくまでも地域が主体

運営協議会の役割

- ・“ミュージアム”の動きを対外的にPRしていくことが大事
- ・基本は「ため池協議会」の活動であり、将来に対するビジョンを描くべき。その上で、多くの団体が連携して個々の活動を支える。その調整をすることが「運営協議会」の役割
- ・クリーンキャンペーンは、基礎的な活動である。それに上乗せする活動を行うとき、効果的な情報（何をするか等）を流通させることが必要
- ・クリーンキャンペーンは、その活動を通じて、後継者の育成や非農家の人に参加してもらうキッカケづくり
- ・非農家の参加を促す、後継者を育てるための活動を年1回は最低でも行うべき。そのためのノウハウを提供していくのが「運営協議会」
- ・「運営協議会」では、何か目に見える形の客観的に評価できる目標設定を行う場
- ・研修会について、「瓦版」づくりの研修を行ってほしい。具体的な要望がある

今後のあり方に関するアンケート結果

今後の運営協議会のあり方を検討し、「ため池・水路」を核とした地域づくりのあり方を模索するため、「各ため池協議会」に対してアンケートを実施しました。

a) 目的

- ・「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」の運営と検討
- ・「ため池協議会」の今後の活動展開・意向確認
- ・結果を基に持続的に「いなみ野ため池ミュージアム」を推進する体制のあり方を検討

b) 対象

- ・ため池協議会 56 団体

c) 実施期間

- ・2009 年 8 月から 9 月

□ 回収率：98.2%（配布：56 団体、回収 55 団体）

□ 運営協議会活動への満足度

「満足」：「不満」：「どちらともいえない」
＝45.5%：18.2%：27.3%

□ 運営協議会に求める役割（上位 5 位）

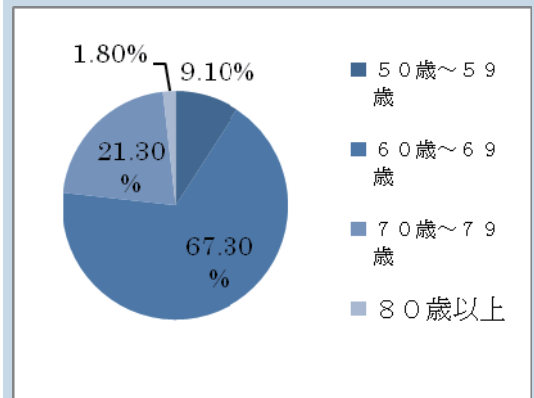
- ① 維持管理上の課題についての研修会の開催……………56.4%
 - ② 水質保全や外来種駆除等共通する課題の調査研究…47.3%
 - ③ 『ため池協議会』活動への支援……………41.8%
 - ④ 『ため池協議会』活動を進めていく上での関係団体との連絡調整……………40.0%
 - ⑤ 各『ため池協議会』との情報共有の場の設定……………27.3%
 - ⑥ 機関誌、ホームページ等による情報発信……………16.4%
 - ⑦ 各『ため池協議会』が参加できるイベントの企画・実施……………16.4%
 - ⑧ 個々の『ため池協議会』の活動計画策定支援……………14.5%
- 特にない、無回答……………16.3%

アンケート結果

No.1 あなたの年齢をお答えください

年齢	計
50 歳～59 歳	5
	9.10%
60 歳～69 歳	37
	67.30%
70 歳～79 歳	12
	21.80%
80 歳以上	1
	1.80%
合計	55
	100.00%

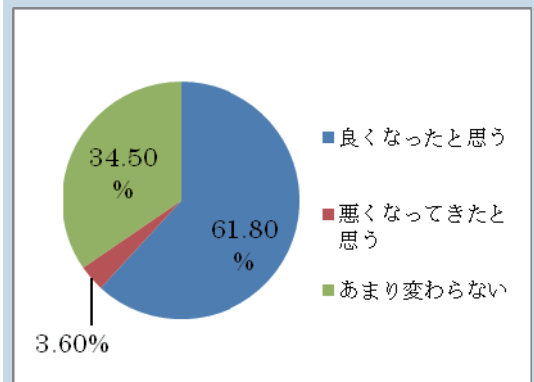
グラフ No.1



No.2 『ため池協議会』を設立する前と比べて維持・管理の状態は変わりましたか

回答	計
良くなったと思う	34
	61.80%
悪くなってきたと思う	2
	3.60%
あまり変わらない	19
	34.50%
合計	55
	100%

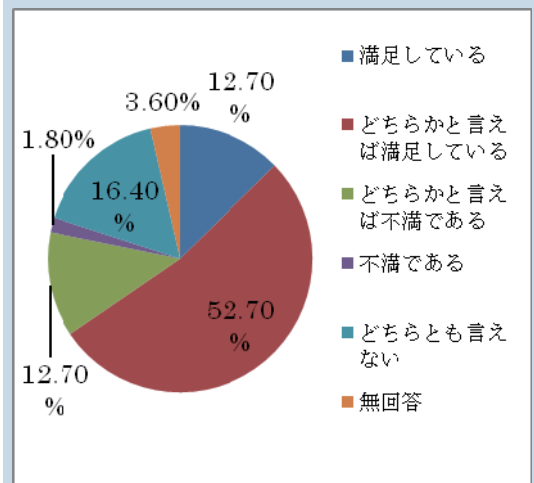
グラフ No.2



No.3 『ため池協議会』活動の現状について満足ですか

回答	計
満足している	7
	12.70%
どちらかと言えば満足している	29
	52.70%
どちらかと言えば不満である	7
	12.70%
不満である	1
	1.80%
どちらとも言えない	9
	16.40%
無回答	2
	3.60%
合計	55
	100%

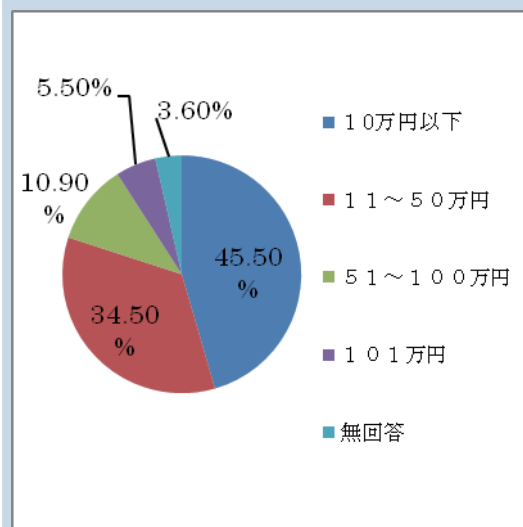
グラフ No.3



No.4 『ため池協議会』の運営に要する経費は、年間どの位かかりますか

回答	計
10 万円以下	25
	45.50%
11～50 万円	19
	34.50%
51～100 万円	6
	10.90%
101 万円	3
	5.50%
無回答	2
	3.60%
合計	55
	100%

グラフ No.4



No.5 引き続き、「ため池・水路」の維持・管理についてお聞きます

回答	計
01. 草刈りや落ち葉、枯れ枝の清掃	32
	58.20%
02. 不法投棄や流入するゴミの駆除	33
	60.00%
03. 刈り取った草や集めたゴミの処分	18
	32.70%
04. 水路等の土砂さらえ	23
	41.80%
05. 釣り人のマナーの悪さ	16
	29.10%
06. アオコの発生や水の臭い	18
	32.70%
07. 外来の生き物の増加	20
	36.40%
08. 池底のヘドロの除去	21
	38.20%
09. 施設の老朽化	17
	30.90%
10. ため池の役割や維持・管理についての一般の人の無理解	20
	36.40%
11. 水難事故防止などの安全対策	23
	41.80%
12. その他	1
	1.80%
無回答	1
	1.80%
合 計	55
	100

No.6 特に引き継いでいきたいことを選んでください

回答	計
01. 農業用水の確保・供給	43
	78.20%
02. 動植物の生息の場	8
	14.50%
03. 洪水などの災害防止の役割	32
	58.20%
04. 災害時など防火用水や生活用水としての備え	11
	20.00%
05. 特徴ある水辺の風	11
	20.00%
06. レクリエーションなど遊びの場	3
	5.50%
07. 地域の住民が集い、共同活動をする場	12
	21.80%
08. 環境学習の場	6
	10.90%
09. ため池や水路に関わる歴史や文化を伝える場	12
	21.80%
無回答	9
	16.40%
合計	55
	100

No.7 『ため池協議会』の活動の今後についてお聞きます。お考えに近いものを1つ選んでください

回答	計
01. 『ため池協議会』の活動を継続していきたい	21
	38.20%
02. できれば『ため池協議会』の活動を継続していきたい	23
	41.80%
03. 『ため池協議会』の活動を継続していきたいと思わない	5
	9.10%
04. どちらともいえない	4
	7.30%
無回答	2
	3.60%
合計	55
	100.00%

No.8 『ため池協議会』を運営していく上で、困っていることはありますか。

回答	計
01. 特定の個人に責任や作業が集中する	20
	36.40%
02. 活動にたずさわるスタッフの不足	11
	20.00%
03. リーダーや後継者が育たない	7
	12.70%
04. メンバーが忙しく一緒に集まる時間がつくりたい	8
	14.50%
05. 新しいメンバーが増えない	9
	16.40%
06. 他の協議会などの情報が得にくい	8
	14.50%
07. 行政や民間の助成など活用できる制度の情報が得にくい	7
	12.70%
08. 活動資金の不足	18
	32.70%
09. 活動に必要な機材等の不足	3
	5.50%
10. 『ため池協議会』メンバーの一体感の不足	8
	14.50%
11. 『ため池協議会』の活動が明らかでない	6
	10.90%
13. 『ため池協議会』として活動するメリットがわからない	9
	16.40%
14.その他	3
	5.50%
無回答	16
	29.10%
合計	55
	100.00 %

No.9 今後、『ため池協議会』で力を入れて取り組んでいきたいことはどのようなことでしょうか

回答	計
01. 会員意見の集約	6
	10.90%
02. 定期的な話し合い	12
	21.80%
03. 維持・管理作業の継続的な実施	37
	67.30%
04. イベントなど一般の方も参加できる催しの開催	16
	29.10%
05. 他の協議会等との交流	11
	20.00%
06. 地域にあるため池についての PR	10
	18.20%
07. 地域外へのイベント情報などの発信	2
	3.60%
08. 協議会内での後継者づくり	16
	29.10%
09. 助成事業などを活用した運営資金の確保	22
	40.00%
無回答	13
	23.60%
合計	55
	100.00%

No.10 『いなみ野ため池ミュージアム運営協議会』の活動について、どのような印象を持っていますか。

回答	計
01. 満足している	9
	16.40%
02. どちらかといえば満足している	16
	29.10%
03. どちらかといえば不満である	8
	14.50%
04. 不満である	2
	3.60%
05. どちらともいえない	15
	27.30%
無回答	5
	9.10%
合計	55
	100.00%

No.11 『ため池協議会』活動を継続していく上で、外部からの支援が必要なのはどの項目ですか

回答	計
01. イベント等活動を支援するスタッフなど人材の派遣	16
	29.10%
02. イベント等活動に必要な資材等の調達、貸出	18
	32.70%
03. 『ため池協議会』運営を支援する人材の派遣	10
	18.20%
04. 活動に広がりを持たせるため、地元の学校や関係団体との連絡調整	22
	40.00%
05. 『ため池協議会』メンバーに対する「協議会運営」の講座などの開設	7
	12.70%
06. 特定の課題に対する調査・研究	7
	12.70%
07. 『ため池協議会』運営に活用できる助成制度等の情報提供	33
	60.00%
08. “瓦版”や“ホームページ”等『ため池協議会』が発行する広報誌等の作成支援	2
	3.60%
09. 新聞社等メディアへの情報提供	6
	10.90%
10. 「農地・水・環境保全向上対策」の継続	28
	50.90%
11. 『ため池協議会』活動の計画作成への支援	9
	16.40%
12. 特にない	2
	3.60%
無回答	5
	9.10%
合計	55
	100.00%

No.12 今後『いなみ野ため池ミュージアム運営協議会』にどのような役割を求めますか。

回答	計
01. 各『ため池協議会』と情報共有の場の設定	15
	27.30%
02. 『ため池協議会』活動を進めていく上で、関係団体等との連絡調整	22
	40.00%
03. 機関誌の発行やホームページ等による対外的な情報発信	9
	16.40%
04. 個々の『ため池協議会』の活動計画策定支援	8
	14.50%
05. 各『ため池協議会』が参加できるイベントの企画・実施	9
	16.40%
06. 「ため池・水路」を維持・管理していく上での課題についての研修会の開催	31
	56.40%
07. 『ため池協議会』活動にたいする支援	23
	41.80%
08. 水質保全や外来種駆除など多くの「ため池・水路」に共通する課題の調査・研究	26
	47.30%
10. 特にない	2
	3.60%
無回答	7
	12.70%
合計	55
	100.00%

c)新たな事業展開

検討委員会意見やアンケートを踏まえ、「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」の事業の見直しを行った。

【旧】

- 1.実践活動事業
 - (1) 水辺環境の保全・再生プログラムの実施
 - (2) ため池回廊ツーリズムの推進
- 2.人材養成事業
 - (1) 人材発掘・養成
 - (2) 人材バンクの運用
- 3.ため池の安全管理プログラム
4. 普及啓発事業



【新】

- 1.実践活動支援事業
 - (1) ため池協議会活動等への支援
- 2.人材バンク事業
 - (1) 客員キュレーター&ミュージアムインストラクター制度の運用
 - (2) 人材発掘事業
- 3.調査研究事業
 - (1) 調査・研究事業
 - (2) 研修会等の実施事業
- 4.普及啓発事業
 - (1) ホームページの運用
 - (2) 普及啓発イベントの開催
 - ・啓発イベントの開催
 - ・市町ため池協議会連絡会ホーム開催支援
 - ・実践活動団体への支援
 - (3) 印刷媒体の整備
 - ・機関誌の発行
 - ・グッズ制作

見直しの視点

- ・ため池協議会活動に広く一般の参加を促す。
- ・キュレーター等活動経費は原則依頼者負担
- ・市町ごと課題を設定し調査研究事業を実施
- ・研修会の実施